

「ジャーナリスト・ワークショップ」参加者募集！

世界には、はっきり見えるものと同時に「見えにくいもの」「見えないもの」が存在します。そして、それは「伝えにくいもの」であるのも事実です。でも、誰かが伝えなければ永遠に「知られざるもの」として終わってしまうこともありますし、時にはそこに「本質」が隠されていることもあります。そして、その「本質」はなぜ「見えにくいもの」になっているのかについても考えなくてはなりません。さらに考えるだけではなく積極的に伝えることを目標にしなければ、現実の社会がより見えにくくなっていくかもしれません。

2009年7月から4カ月にわたり、「見えにくい障害」のひとつである知的障害を持った方々が行うサッカー（知的障害者サッカー）をケーススタディに「見えにくいもの」「伝えにくいもの」を考えるワークショップを行います。そして、2009年日韓交流戦をはじめとする各国内大会、「もう一つのワールドカップ」と言われる「INAS-FID サッカー世界選手権 2010年南アメリカ大会」を取材し、ご協力の媒体で質の高い報道をすることを目指します。

プロ・アマ、学生・社会人、経験の有無を問わず、障害者スポーツあるいはサッカーに関心がある方、ライター、フォトグラファー、ビデオ・ジャーナリスト等、自分のテーマを真剣に考え、取材・発表の方法論を模索し積極的に活動を行おうとしている方ならば、どなたでもご参加いただけます。

※各回参加の前に、必ず事前課題があります。

■日時と内容



◇第1回 見えにくいもの、伝えにくいものとは何かを「知る」

日時：7月19日(日)11:30 開場 12:00 開始 18:00 まで

ファシリテータ：ヤハギクニヒコ(アルスコンビネーター)湯山尚之(ジャーナリスト)

目的：人による感覚の相違点と共通点を認識し、取材方法を組み立てる。

◇第2回 見えにくいもの、伝えにくいものを「取材する」

日時：8月9日(日)ミーティングと全国知的障害者サッカー交流大会取材

ファシリテータ：湯山尚之

目的：実際に障害者サッカーを取材することにより、対象や方法への理解を深める。

内容：8月は取材月間。各大会や練習他をチームで取材。対象・方法の選択は原則自由。

◇第3回 見えにくいもの、伝えにくいものを「伝える」

日時：9月27日(日)11:30 開場 12:00 開始 17:00 まで

ファシリテータ：湯山尚之

ゲスト：小澤通晴(INAS-FID サッカー世界選手権 2006ドイツ大会日本代表監督)

後藤邦夫(元筑波大学教授 日本知的障害者スポーツ連盟理事長)

佐藤正彦(日本知的障害者サッカー支援機構理事長)

中村和彦(映画監督)

目的：それぞれの取材を「個人作品」にまとめる指針を見つける。

内容：チーム毎に取材内容を発表、現場を知るゲストとディスカッション。

◇第4回 見えにくいもの、伝えにくいものを形にして「残す」

日時：10月18日(日)11:30 開場 12:00 開始 18:00 まで

ファシリテータ：ヤハギクニヒコ 湯山尚之

ゲスト：現役新聞記者(未公表)

目的：それぞれ武器となる視点や方法を確認、今後の課題を見つけて戦略を立てる

内容：「個人作品」の発表とディスカッションによる振り返り。

■会場 第1回 中野区 中野サンプラザ 第2回 御殿場市 時之栖(ときのすみか)

第3回 横浜市 横浜ラポール 第4回 未定

■定員 20名限定。最終申込期限は2009年6月末日。但し、定員になり次第締め切り

■参加費用 ¥45,000(4回)

※ワークショップ参加費。その他発生する資料代、昼食代、交通費、取材費、機材費等は各参加者の負担となります。

※1回目のみ単回参加可能。その場合は¥12,000。但し、参加申込が定員を超えた場合は4回通し参加者を優先します。

※お支払方法は原則として事前一括払いですが、ご相談に応じます。下記フォームよりお問い合わせ下さい。

■参加方法 申し込み

エントリーフォーム <http://www.joinpartners.jp/entry/mail.cgi>

質問その他

お問い合わせフォーム <http://www.joinpartners.jp/contact/mail.cgi>

■ファシリテータ・ゲスト プロフィール

・ファシリテータ (五十音順)

◇ワークショップ参加のルール

このワークショップは、答えを教
えてもらうものではなく、皆が一緒
になって考え、創り上げます。

そのため、指定された事前課題に
参加者が各自で取り組んで自分の
意見を持って参加し、ファシリテ
ータやゲスト、他の参加者と意見交
換をしながら、より高いレベルを目
指します。



◆ヤハギクニヒコ(矢萩邦彦) アルスコンビネーター

方法をデザインして、関係をアートする「アルスコンビネーター」
studioAFTERMODE 代表、鏡明塾塾長、ISIS 編集学校師範代、日能研社会科講師、公園緑地財
団プロジェクトワイルド・ファシリテータ。活動ポリシーに「シュールバシフィズム」を掲
げ、アート・ジャーナリズム・教育の相互企画デザインを中心に創作・研究・講義、ラジオ
やイベント・広告制作まであらゆるジャンルを手がける。

2008年より、松岡正剛師より拜命した、日本で最初の【ArsCombinator】として活動を開始。
フォトジャーナリスト安田菜津紀、アートディレクター安藤理智と共に「studioAFTERMODE」
を設立、精力的に写真展やシンポジウムを展開している。http://www.yahagi.biz

◆湯山尚之(ゆやまたかゆき) ジャーナリスト NPO 法人パラフォト理事

1962年神奈川県藤沢市生まれ。出版社、新聞社などを経てフリーで取材、撮影、執筆に従事。
知的障害者サッカー日本代表を追ったノンフィクション『夢 プライド in ブルー』(河出書
房新社)を2007年に出版。最近では2008年に開催された、サッカーのホームレスワールド
カップ・メルボルン大会などを取材。

・ゲスト (敬称略・五十音順)

◆小澤通晴(おざわみちはる)

INAS-FID サッカー世界選手権 2006 ドイツ大会日本代表監督

1962年東京都目黒区生まれ。東京都立武蔵台特別支援学校教諭
日本サッカー協会 公認A級ライセンス。東京都サッカー協会 インストラクター。
1987年都立王子養護学校に赴任 サッカー部を創設し、東京都に知的障害者のサッカー大会、
連盟を立ち上げる。INAS-FID 世界選手権 2002年日本大会でコーチを務め、同2006年ドイツ
大会監督。現在は知的障害者の指導だけでなく、健常者の東京都選抜U-13監督、指導者養成
のインストラクター。

◆後藤邦夫(ごとうくにょ)

元筑波大学教授 NPO 法人日本知的障害者スポーツ連盟理事長

筑波大学体育専門学群、同大学院人間総合科学研究科において体育学(特殊体育学)を専門
領域とし、知的障害者障害者スポーツ指導法を講義、演習、卒業論文・修士論文作成を指導。
2000年より、知的障害者スポーツを統括する団体である NPO 法人日本知的障害者スポーツ連
盟理事長を務める。著書に、『バリアフリーをめざす体育授業 — 障害のある子どもと共に学
ぶ』2001年杏林書院 など。

◆佐藤正彦(さとうまさひこ)

NPO 法人日本知的障害者サッカー支援機構理事長

サラリーマン生活後、様々なボランティア活動に従事、2006年インターネットの報道をき
っかけに知的障害者サッカーに関わりを持つようになる。2007年 NPO 法人日本知的障害者サ
ッカー支援機構を設立し理事長に就任、現在は日本ハンディキャップサッカー連盟事務局長も
兼務し、知的障害者サッカー普及活動に力を入れている。

◆中村和彦(なかむらかずひこ) 映画監督

1960年生まれ、福岡県出身。早稲田大学第一文学部在学中よりピンク映画の助監督をつとめ、
フリーの助監督・監督補として池田敏春、曾根中生、田中登、大森一樹、石井隆、細野辰興、
望月六郎、奥田瑛二等、数多くの監督につき、テレビドラマ、オリジナルビデオ、劇場用劇
映画、ドキュメンタリー映画等の監督を経て現在に至る。

監督作品

劇場用劇映画『棒』(2002年・ゼアリズエンタープライズ)(2002 フィラデルフィア国際映画
祭正式出品、2002 フランクフルトNippon Connection クロージング上映作品)

劇場用ドキュメンタリー映画『プライド in ブルー』(2007年バイオタイド・パンドラ)

■主催・運営：

ジョインパートナーズ株式会社 ワークショップ事業部

■協力：

日本ハンディキャップサッカー連盟

NPO 法人日本知的障害者サッカー支援機構

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

株式会社リベルワークス フォトグラフ事業部 (G-PHOTO)